



愛の言葉

慕し

プレゼント

FOR R18 ADULT ONLY



ある日の
トリニティ総合学園



きっと我が校の将来に
関わる…とにかく
私たちの想像できない
ことですわ！

ナギサ様今日も
お美しいですわ！
あの真剣な御顔、一体
どのような事を
お考えなのかしら！



ナギサの脳内

早く終わらせて
ミカさんとお茶したい…

はあ…



す、すみません!!

ちよつと貴方達！
何をお喋りしている
んですか！

その日の午後

ミカさん、ごきげんよう
お先にいただいていますよ

ナギちゃん
遅れてごめーん

遅れるミカさん
が悪いです。

えーナギちゃん
待っててよー

あら？ミカさん
その箱はなんですか？

あっ!?!?
気付いた？



じゃーん！先生からの
プレゼントだよ☆



それはよかったですね…
ではお茶会を始めますか

？

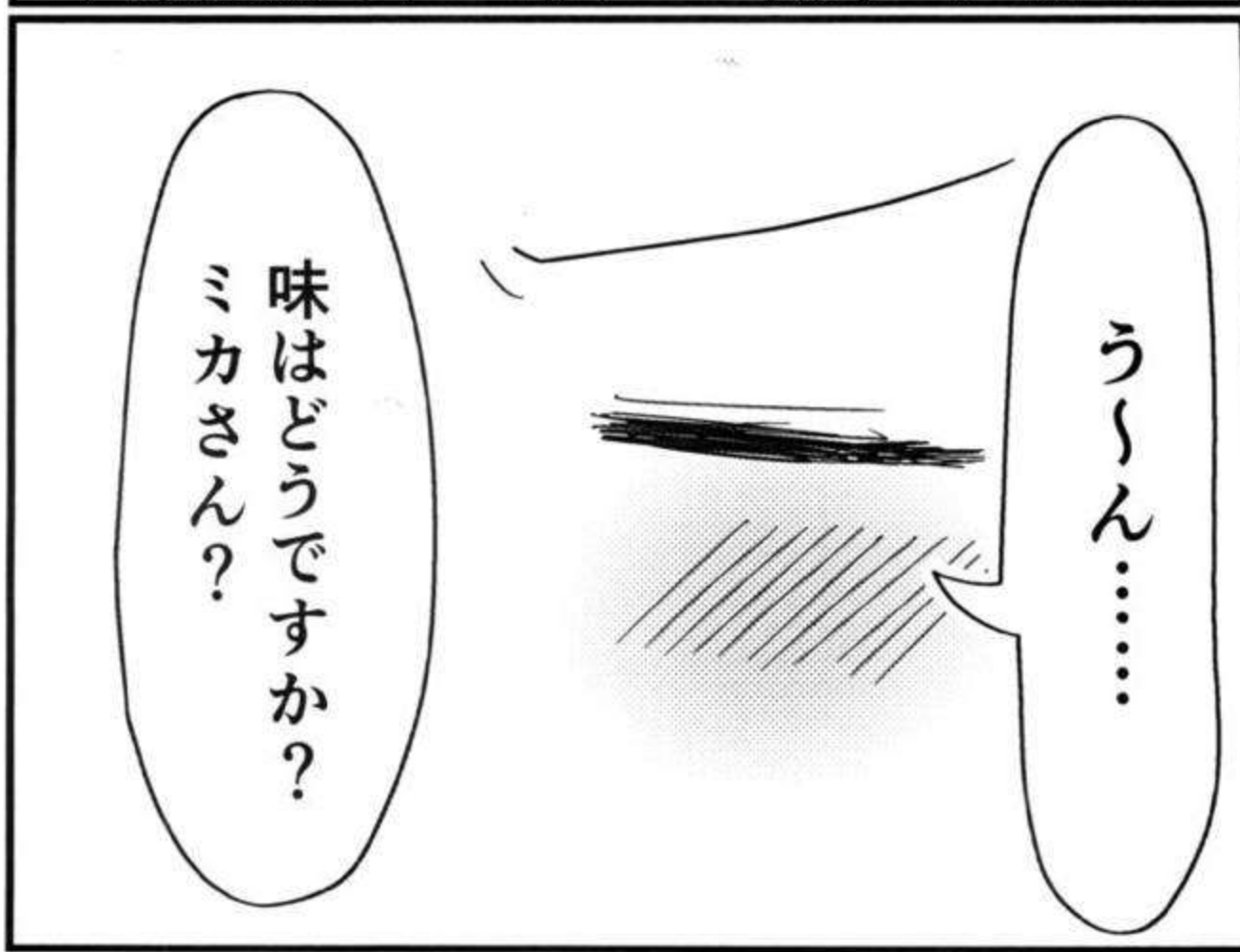
あ、うん…



ハッピ



奉仕活動頑張った
ご褒美で貰ったんだ☆



おいし〜！この中の
ソースの芳醇な感じ
私、好きかも〜☆

あとなんか体も
ポカポカしてきたかも〜

あーん

では…私もおひとつ

本当、美味しいですね…
甘いチョコとほろ苦く
芳醇なソースとの
マリアージュが素敵…

でしょ！
でしょ！

やっぱり先生って
センスいいよね〜☆

ギョッ

おかしいです…

普段ならミカさんの先生の
話なんて聞き流せるのに…

ドクンッ
ドクンッ

今は衝動が

抑えられない…

いい加減にして下さり…

いつも…いつもいつも！

私と居るのに…
先生の話ばかり！

ナギちゃん急に
どうしたの？

そう言うナギちゃんだったって…
いつも紅茶の話ばかりかするし

そういう問題じゃ
ありません！！

まさかお酒が入ってた
なんてね……。
落ち着いたナギちゃん？

そっか：
よかった

ナギちゃん：
何か悩んでる？

もしも私に関係してる
なら話して欲しい……。かな

ナギちゃん！？
別に無理に言わなくて
も良いからね！！

私はミカさんを
愛しています……

友人としてだけでなく
1人の女性として……

だからミカさんが
私と一緒にいる時も先生の
話ばかりする事に
嫉妬していました。

ナギちゃん……

私の方が
ずっと長く……
ずっと深く……
愛しているのに……と。

すみません急にこんな事
言ってしまったって…。
お返事は結構です…。

これ以上ミカさんを苦しめる
つもりはありませんから…。

ごめん…ナギちゃん今まで
気付いてあげられなくて

これからはちゃんと
ナギちゃんのこと見るから

慰めなんて
いりません！

ナギちゃん！！
ちゃんと聞いて！

ナギちゃん…
私もナギちゃんが好き

それは…
友人として…

ううん
違うよ…

私もナギちゃんを
1人の女の子として好き

本当…ですか？



じゃあ誓いのキス…する？
それで信じてくれる？



それはミカさんがよく
分かっているのでは？

うぐっ

ホントだよ…
信用ないなあ…



はい…



びっくりしたり
ヒフミちゃんか…



ナギサ様
いらっしやいますか？



じゃあ
いくよ…

ぐきッ

ぐきッ

ヒフミさん：
どうぞ入ってください

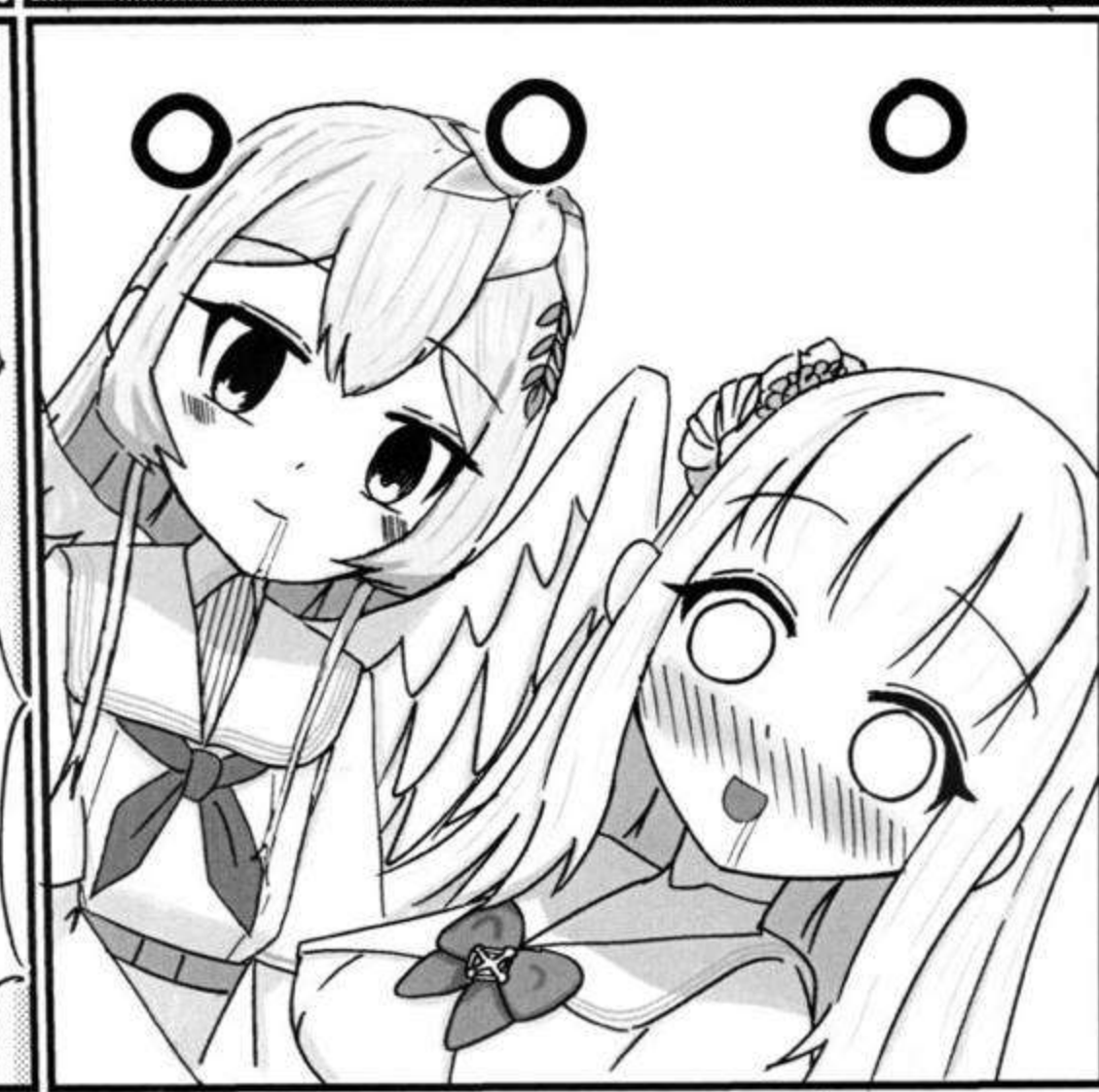
?

ちよっナギ
ちゃん!?

えっ…えーつと…じゃあ
お邪魔しま…

ガ
ツ
チ
ヤ





でも、気持ち 良かったですよ?

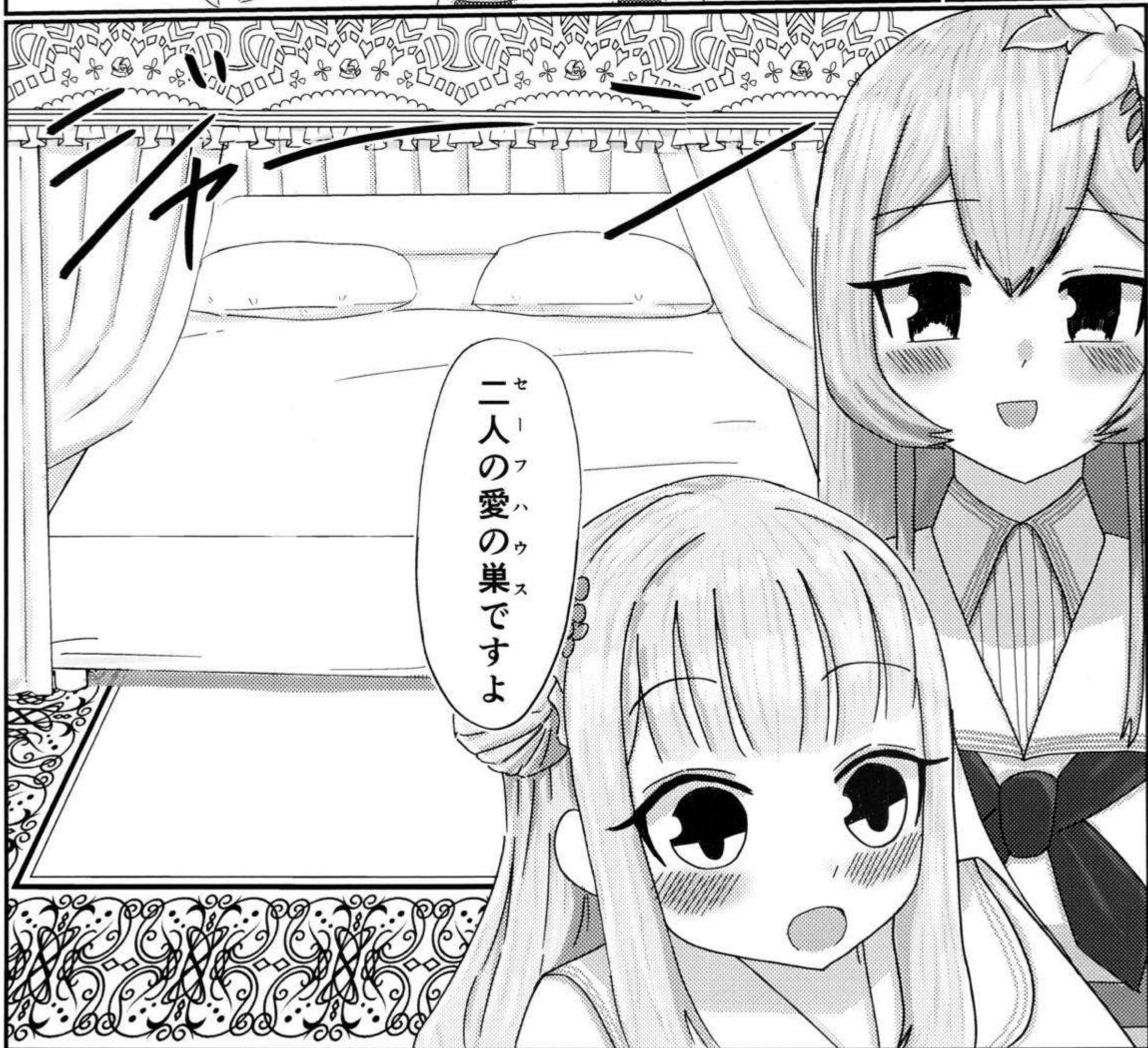
そ、それは...

まあその件は
置いておいて…

ではミカさん
行きましようか…

ふえー！う・ナギちゃん！
ど、何処に！？

二人の愛の巣ですよ



それでは
始めましょうか…

ふえっ！…？

ド"ザッ

ほらミカさん…
早く脱いで下さい。

ピクッ

あっ…待って
ナギちゃん…

ミカさん…
可愛いですよ

ピクッ

ピクッ

あっ

ナギちゃんそんな
耳元でダメ…！

ギョッ





ちゅっっ

んっ
っ

ちゅっっ



あっっ

あんっ

ナギちゃんっ！イク！！
イツちゃうううう！！

トクッ

ビクッ

っ

ビクッ

くちゅっ

くちゅっ



では次は一緒に気持ち
良くなりましょうか

なんで？



はあ

はあ

はあ



ミカさん：初めてでしたが
いかがでしたか？
上手くやれていましたか？

気持ちよかったけど！
ナギちゃんばかりで
ズルい！不公平！！



あ、っ、っ

あつ…ナギちゃ…
首筋ダメえ!!!

ちゅっ、っ

ちゅっ、っ

むじゅっ、っ

にくむっ、っ

ちゅっ、っ

ちゅっ、っ

んっ、っ

これ…
乳首が擦れて…
気持ちいい…

ぴん、っ

ぎゅっ、っ

ナギちゃん!
気持ちいいよ!

ミカさん!
気持ちいいですか?

あ、っ、っ

は、っ、っ

はあ、っ
ミカさん、どうぞ
腰をこちらに…

はあ、っ

あ、っ、っ

ぷん、っ

くちゅっ、っ

くちゅっ、っ

くちゅっ、っ

次の日

本当に申し訳ない！！
申し訳ありません！

先生、頭上げてよ
全然大丈夫だから

ミカさんの
言う通りです。

え？それって
どういうこと？

ふえ！？え、えっと…一足先に
大人の味を味わえたってコト
だよねナギちゃん！？

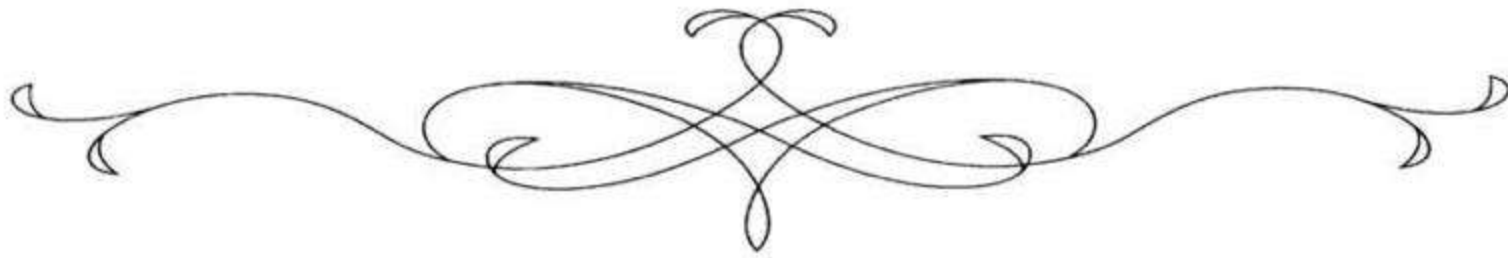
むしろ感謝して
いるくらいです。

ねっ……
ミカさん？

ええ……とても……
素敵なお味でした。

～あとがき～

ここまで読んでいただき誠にありがとうございます。
今まで合同には何度か参加させてもらったのですが、
自分だけで本を作るということは初めてのため
色々と分からない事も多かったですがこうして
ナギミカで新刊を出せた事がとても満足です。
今後もブルアカ百合で同人活動していこうと
思っていますのでどうぞよろしく願いいたします。
本作品の感想をTwitterでお待ちしています！！



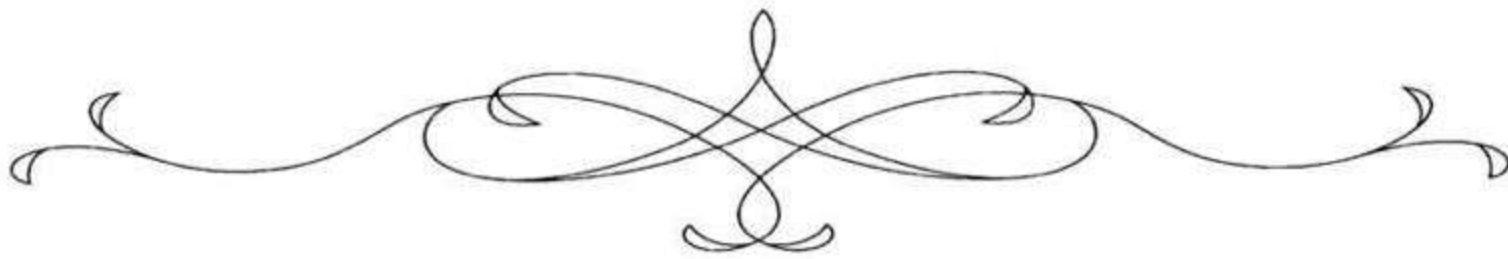
発行日:2024/1/20

サークル:アカシ屋

著者名:宮司あかし

印刷:株式会社ポプルス様

連絡先:X(旧Twitter)ID:@guji_akashi



♡ アカシ屋 ♡